

認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

平成 20 年 12 月 19 日

長野県飯田市

I. ポイント

○計画期間;平成 20 年 7 月～平成 25 年 3 月(4 年 8 ヶ月)

(1)概況

平成 20 年度においては、認定基本計画に掲載している全 54 事業のうち約 4 割にあたる 22 事業について実施又は計画に着手している。特に中心市街地をフィールドとして実施したソフト事業である「りんご並木にぎわいづくり事業」、「人形劇のまちづくり推進事業」、「まちなか観光活性化事業」、さらに例年実施している「ツアー・オブ・ジャパン南信州ステージ開催事業」、「飯田りんごん開催事業」、「いいだ人形劇フェスタ開催事業」の展開により、開催時のみならず平常時においてもりんご並木を中心にまちの賑わいを創出してきたと考えられる。

また、旧基本計画において建設が行われた銀座堀端ビルにおいては、まちなか健康福祉拠点整備事業・健康関連サービスが開始され、都市福利施設の利用者数が順調に増加している状況である。

さらに現在整備工事实施中である「りんご並木周辺商業施設等整備事業」、「路上パーキング機能を活用した活性化事業」、「御用水再生事業」などのハード事業においては、竣工後の利活用、各種ソフト事業との連動によって、中心市街地の賑わいづくりや都市福利施設の利用増加を見込むことができると考えている。

(2)目標達成の見通し

基本方針	目標	目標指標	基準値 (年)	目標値 (H24fy)	最新値 (H20fy)	見通し
○地域固有の価値の創造 ○複合的視点での事業実施 ○さらなる市民の力の集約集中化	人々の交流によるにぎわいの回復	歩行者・自転車通行量	7,000 人 (H19 年)	9,000 人	7,030 人	②
○アクセスしやすい都市交通基盤整備 ○人の暮らしにあった効率のよい機能再編	環境に配慮し安心安全な暮らしの実現	都市福利施設利用者数	77,000 人 (H18 年)	93,000 人	80,423 人	②

注) ①: 事業等の進捗状況が極めて順調であり、相当程度の余裕をもって目標達成可能であると見込まれる。

②: 事業等の進捗状況が概ね予定通りであり、目標達成可能と見込まれる。

③: 事業等の進捗状況が予定通りではないものの、依然として、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。

④: 事業等の進捗に相当程度の支障が生じており、目標達成が困難と見込まれ、今後対策を講じる必要がある。

⑤: 事業等が実施されていないため、今回は評価対象外。

<達成状況の評価及び見通しの理由>

①「歩行者・自転車通行量」について

- ソフト事業については、今年度ほぼ計画通り実施し、事業効果が現れている。今後、りんご並木周辺商業施設等整備事業などの事業実施により、目標は達成されるものと考えている。

②「都市福利施設の利用者数」について

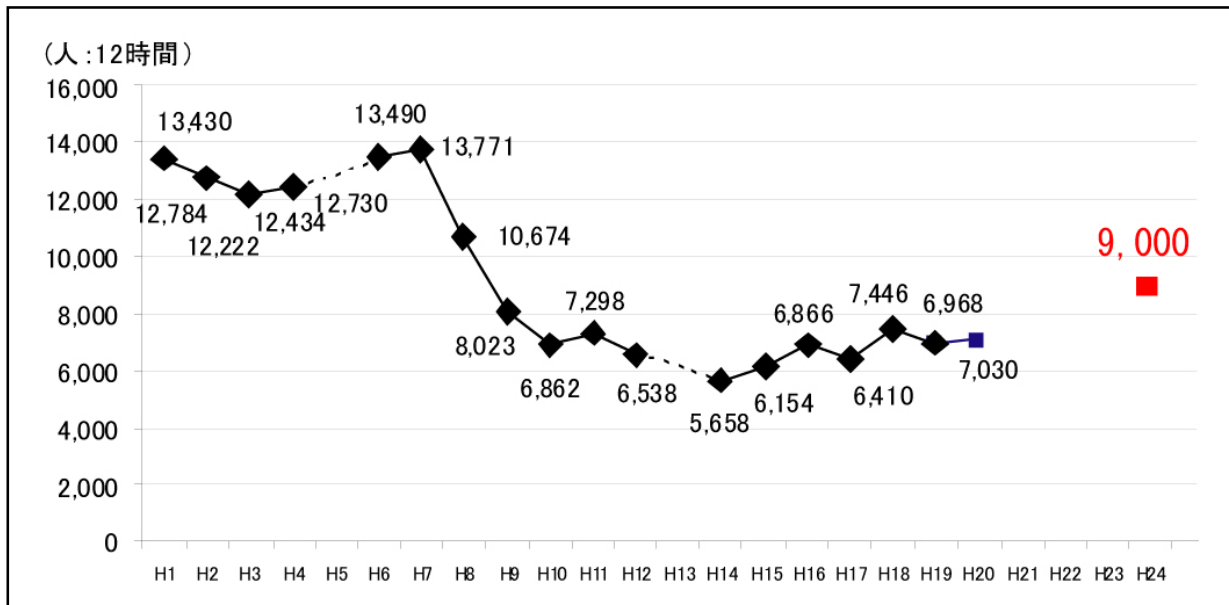
- ・ 既存の都市福利施設の利用者数は横這いであるものの、新規事業による健康関連サービス提供が開始し、ほぼ計画通りの利用者の推移が見込まれる。

(3) 今後の対応

- ・ 現在取組を行っている事業を含め基本計画に掲載しているハード事業の計画的な推進を行い、ソフト事業との連動によって相乗効果を図る。

II. 目標「歩行者・自転車通行量」

II-1. 数値目標の達成状況（「歩行者・自転車通行量」→目標設定の考え方基本計画 P50～P54 参照）



年 (調査月)	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20 (10)	H21	H22	H23	H24 (実績 数値)	H24 (目標 数値)
空き店舗率 (全フロア)	6,862	7,298	6,538	-	5,658	6,154	6,866	6,410	7,446	6,968	7,030					9000

II-2. 主要事業の進捗状況

- ・ りんご並木賑わいづくり事業 平成20年4月着手
- ・ まちなか観光推進事業 平成20年4月着手
- ・ 人形劇のまちづくり推進事業 平成20年10月着手
- ・ まちなか健康福祉拠点整備事業 平成20年4月着手
- ・ りんご並木周辺商業施設等整備事業 平成21年3月完成予定
- ・ 路上パーキング機能を活用した活性化事業 平成21年3月完成予定

II-3. 数値目標達成の見通し

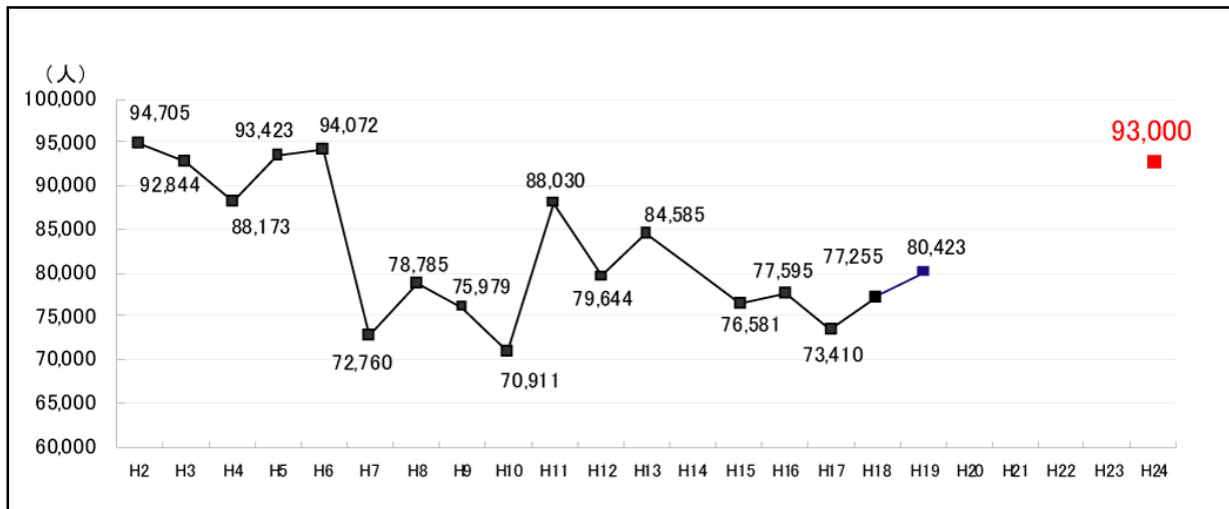
- ・ 20年度は、りんご並木賑わいづくり事業、人形劇のまちづくり推進事業など、基本計画に掲載した新規のソフト事業に重点的に取り組み、特にりんご並木における歩行者通行量の増加など、事業効果が現れている。
- ・ 現在実施中である、りんご並木周辺商業施設等整備事業などのハード事業と今年度実施を始めたソフト事業との連動により、回遊性が促進され、数値目標は達成されるものとする。

II-4. 今後の対応について

- ・ 今後の実施予定の主要事業である商工会館改築事業、駅周辺及び駅前ストリート整備事業における観光案内所整備などについて検討を開始し、計画的な事業実施に努めていく。

Ⅲ. 目標「都市福祉施設の利用者数」

Ⅲ-1. 数値目標の達成状況（「都市福祉施設の利用者数」→目標設定の考え方基本計画 P55～P58 参照）



年 (調査月)	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19 (12)	H20	H21	H22	H23 (実績 数値)	H23 (目標 数値)
空き店舗率 (全フロア)	75,979	70,911	88,030	70,644	84,585	-	76,581	77,595	73,410	77,255	80,423					93,000

Ⅲ-2. 主要事業の進捗状況

- ・ まちなか健康福祉拠点整備事業 健康関連サービス 平成20年4月サービス開始
- ・ まちなか健康福祉拠点整備事業 福祉関連サービス 平成20年4月着手

Ⅲ-3. 数値目標達成の見通し

- ・ 銀座堀端ビルにおけるまちなか健康福祉拠点整備事業・健康関連サービス提供が本年度より本格的に開始し、ほぼ計画通りの利用者の推移が見込まれる。
- ・ 同事業・福祉関連サービスについては、4月準備に着手し、現在、高齢者支援機能を整備・試行しているところである。本格稼働により、概ね計画通りの利用者を見込むことができると考えている。

Ⅲ-4. 今後の対応について

- ・ 子育て・子どもサロンの拠点整備や飯田市公民館を中心としてコミュニティ講座等の開催により、計画的な事業実施に努めていく。

IV. その他

「基本計画の重要事項に関する変更等」

特になし

- ※ 都市計画マスタープランの改定、準工業地域における大規模集客施設の立地規制に関する条例施行等、認定時点で実施予定だったものについて、実施後の内容について記載してください。
- ※ 土地利用方針に関する重大な変更を行った場合には、変更内容を記載してください。
(改定された都市マス、大規模集客施設の特別用途地区等の都市計画決定及び条例等、関係資料も併せて送付してください)
- ※ その他地域ぐるみの取組状況等、特段記述する事項がある場合には記載してください。